

## 単元名 たし算と ひき算

配当時間 5時間

単元の目標 (1) (2位数)  $\pm$  (1位数), (2位数)  $\pm$  (何十) の計算について, 暗算の仕方を理解し, その計算を暗算で行うことができる。  
 (2) (2位数)  $\pm$  (1位数), (2位数)  $\pm$  (何十) の計算の仕方を考えることができる。  
 (3) 基本的な計算を暗算で処理しようとする。

## 標準的な展開例

02040104\_001

## 【準備等】計算棒

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 (2位数) + (1位数) で繰り上がって何十となる暗算をする。[p. 24・p. 25]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 17 + 2 を計算する。</li> <li>○ 単元の学習課題をつかむ。</li> <li>★ 17 + 3 のような計算のしかたを考えていこう。</li> <li>○ (2位数) + (1位数) で和が何十になる暗算の仕方を考える。</li> </ul> <p>○ 36 + 4 に取り組む。</p> <p>○ 「練習問題」に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計算棒などの具体物を操作して, 繰り上がりのある計算をつかませる。</li> <li>・ 既習の 17 + 2 を基に 17 + 3 を立式させる。</li> <li>・ 課題設定は短時間で行うようにする。</li> <li>・ 計算棒を操作して考えさせる。</li> <li>・ 「17の7に3をたして10だから20」になることを理解させる。</li> <li>・ 1位数の加法で10以上のまとまりができたときに, その中の10を十の位に繰り上げることを知らせる。</li> <li>【評】 (2位数) + (1位数) の計算の仕方を考える活動を通して, 「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</li> <li>・ 被加数の十の位の数に1以外の場合について考えさせる。</li> <li>・ 和が何十になる暗算の練習問題や, 30の補数の問題に取り組ませ, 次時の準備をする。</li> <li>【評】 和が何十になる暗算をする活動を通して「知識・技能」を評価する。</li> <li>・ 計算棒などの具体物を操作したり, 計算の仕方を声に出したりして, 計算の仕方の定着を図る。</li> </ul>
<p>2 (2位数) + (1位数) = (2位数) の暗算をする。[p. 26・p. 27]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時の学習課題をつかむ。</li> <li>★ 17 + 4 の計算のしかたを, 何十をつくって考えよう。</li> <li>○ (2位数) + (1位数) の計算の仕方を考え, 説明する。</li> </ul> <p>○ 38 + 3 を声に出して計算する。</p> <p>○ 「練習問題」に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前時の「17の7に3をたして10だから20」になることを想起させ, 4を3と1に分けるとよいことに気付かせる。</li> <li>・ 10のまとまりの数に着目すればよいことに気付かせる。</li> <li>・ 38を分解しないで, 計算するようにさせる。</li> <li>【評】 (2位数) + (1位数) の計算の仕方を考える活動を通して, 「思考・判断・表現」を評価する。</li> <li>・ 計算するだけではなく, 声に出しながら, 計算の仕方の定着をはかる。</li> <li>【評】 (2位数) + (1位数) = (2位数) の暗算をする活動を通して, 「知識・技能」を評価する。</li> </ul>
<p>3 (何十) - (1位数) の暗算をする。[p. 28・p. 29]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 19 - 8 を計算する。</li> <li>○ 本時の学習課題をつかむ。</li> <li>★ 20 - 8 のような計算のしかたを考えていこう。</li> <li>○ 20 - 8 の計算の仕方を考える。</li> </ul> <p>○ 30 - 6 に取り組む。</p> <p>○ 「練習問題」に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計算棒などの具体物を操作して, 繰り下がりのある計算をつかませる。</li> <li>・ 既習の 19 - 8 を基に, 20 - 8 を立式させる。</li> <li>・ 計算棒を操作して考えさせる。</li> <li>・ 10のまとまりの1つをばらばらにすればよいことを理解させる。</li> <li>・ 被減数の十の位の数に2以外の場合について考えさせる。</li> <li>・ 「20のうちの10から8をひいて2, 10と2で12」と被減数を分解する仕方から, 「20から8をひいて12」と被減数を分解しない仕方へ高めていく。</li> <li>【評】 (何十) - (1位数) の暗算をする活動を通して, 「知識・技能」を評価する。</li> </ul>
<p>4 (2位数) - (1位数) の暗算をする。[p. 30・p. 31]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時の学習課題をつかむ。</li> <li>★ 21 - 8 の計算のしかたを, 何十からひいて考えよう。</li> <li>○ 21 - 8 に取り組み, 繰り下がりのある計算の仕方を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計算棒などの具体物を操作したり, 計算の仕方を声に出したりして, 計算の仕方の定着を図る。</li> <li>・ 前時の学習を振り返り, 10のまとまりの1つをばらばらにして考えさせる。</li> <li>・ 計算棒などの具体物を操作して, 繰り下がる</li> </ul>

<p>説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ <math>42 - 9</math> を声に出して計算する。</li> </ul> <p>○ 「練習問題」に取り組む。</p> <p>5 単元を振り返り，確認問題に取り組む。 [p. 32・p. 33]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「たしかめよう」に取り組む。</li> </ul> <p>○ 学習の振り返りを書く。</p>	<p>ことをつかませる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 何十と1位数に分け，(何十)－(1位数)を先に計算することを押さえる。</li> </ul> <p>【評】 (2位数)－(1位数)の計算の仕方を考える活動を通して，「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 繰り返し練習することで，計算に習熟させる</li> </ul> <p>【評】 (2位数)－(1位数)の暗算をする活動を通して，「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個別指導を通して，単元の学習内容の定着を図る。</li> <li>・ 自己評価をし，不十分なところは教科書で振り返らせる。</li> </ul> <p>【評】 問題に取り組む活動を通して，「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ たし算とひき算について分かったことや面白かったこと，もっとやってみたいことなどを書かせる。</li> </ul>
--	---

【 備 考 】

本単元は，今後学習する基本的な計算の基礎として，大切な学習内容である。本学年で出てくる「たし算とひき算のひっ算」の学習や，「かけ算」の九九を構成する際にも必要となるため，本単元で扱う加法は暗算でできるようにしておく必要がある。そのため，初めのうちは，児童が自分に合った方法で計算できるようにすることを中心に指導する。計算棒を用いて，暗算の仕方を視覚的に捉えさせていく。その後，数概念に基づいて計算できるような計画となるように配慮する。